

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年02月20日

計画の名称	地域の交通リダンダンシーを強化する道路整備（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	仙台市												
計画の目標	国土強靱化地域計画に基づき、市民の生活を支える重要な市道において、交通リダンダンシー（代替路の確保）を強化する道路の整備をおこなう。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,354	A	2,354	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R5末)
1	(市)向田団地線については、道路整備により、災害等で孤立化する世帯数を233（H31.4.1時点）から0（R6.3.31時点）に解消する。 孤立世帯数<現況値><目標値> = 災害等で孤立化する世帯数	233世帯	世帯	0世帯
2	(市)向田団地線以外の3路線については、道路整備により、災害等で現道が通行できない際に生じる迂回走行時間を、21分から7分に短縮する。 走行時間<現況値> = (現道通行不可の際の迂回ルートの走行時間)・走行時間<目標値> = (道路整備後の走行時間)	21分	分	7分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
走行時間<現況値21分><目標値7分>の内訳 ・(市)高畑定義線（高畑第2工区）：6分 4分 ・(市)赤坂明神線ほか3線（赤坂北工区）：7分 2分 ・(市)町東古屋敷線（新馬橋工区）：8分 1分 仙台市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：全ての要素事業																

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	市町村道	改築	(市)高畑定義線(高畑第2工区)	L = 0.6 km	仙台市						714	-	
	A01-002	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	市町村道	新設	(市)向田団地線(向田工区)	L = 0.2 km	仙台市						543	-	
	A01-003	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	市町村道	新設	(市)赤坂明神線ほか3線(赤坂北工区)	L = 1.4 km	仙台市						506	-	
	A01-004	道路	一般	仙台市	直接	仙台市	市町村道	新設	(市)町東古屋敷線(新馬橋工区)	L = 0.3 km	仙台市						591	-	
												小計						2,354	
												合計						2,354	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	419	486	195		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	419	486	195		
前年度からの繰越額 (d)	0	220	299		
支払済額 (e)	199	407	425		
翌年度繰越額 (f)	220	299	69		
うち未契約繰越額(g)	140	117	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	33.41	16.57	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算対応のため	補正予算対応のため			

事前評価チェックシート

計画の名称： 地域の交通リダンダンシーを強化する道路整備（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○